

タイ王国における 環境保全の取組み

日軽金グループの海外展開の拡大によって、現地における環境保全への取組みが広がっています。中でもタイ王国においては環境保全への取組みが進んでいます。

タイでも、日本の大気、水、土、廃棄物などに関する法令・規制と同等もしくはそれ以上のルールがあります。タイの各サイトも、法令を遵守し環境保全に体系的に取り組むため、ISO14001をベースとした環境マネジメントを導入しています。加えて、日軽金グループの環境方針などとベクトルを合わせるため、毎年タイにおいて環境担当者会議を開催し、重要事項や、事故事例や環境改善事例などの情報共有を行っています。

環境担当者会議 in タイ

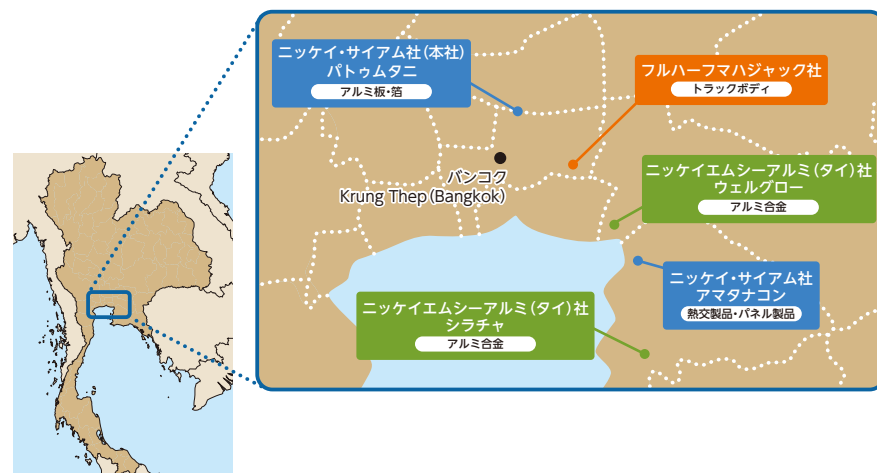
2017年度は11月に開催し、会議には3社5サイトより担当者が参加しました。

各工場の環境保全活動の紹介、タイの環境法令情報の共有などを行いました。今回は特に、各サイトの重点テーマである省エネルギー活動、土壌・地下水汚染や、排水管理について活発な質疑や議論が行われ、各サイトの活動の共有と横展開が図られました。今後も環境担当者会議を継続し、タイにおける環境リスクの低減に取り組んでいきます。



タイでの環境実務担当者会議の様子

●タイ王国の地図と各工場の位置



ニッケイ・サイアム社における 環境保全活動

ニッケイ・サイアム社はタイのパトゥムタニとアマタナコンに工場があり、アルミ板・箔、熱交換器の製造・販売、業務用プレハブ冷凍冷蔵庫用やクリーンルーム用のパネルの設計・製造・販売などを行っています。

ニッケイ・サイアム社における環境保全活動の一部を紹介します。



アマタナコン工場

① アマタ チルドレンデー

アマタナコン工場の従業員は工業団地内の他の会社とともに「チルドレン

デー」に参加し、バナナの葉を使った皿づくりを通じて子供たちに環境の大切さを教えるとともに、近隣住民や会社との交流を行っています。



バナナの葉でできた皿



チルドレンデー出店の様子

② 廃木材の利用

工場で使用する部品を搬入したあとに発生する木箱の廃材を利用して、食堂用のテーブルや長椅子を工場内で作製し、近隣の小学校へ寄付しています。2017年度はテーブル8台、長椅子16脚を寄付しました。



小学校の様子



廃材で作製したテーブルと長椅子



テーブルや長椅子の作製の様子

③ FSC 認証*の製品を使用

工場内で使用する紙製ウエスやティッシューパーはFSC認証の製品に置き換えています。FSC認証製品を使用することで、世界の森林保全に貢献しています。

*FSC認証：森林の環境保全に配慮し地域社会の利益にかなない、経済的にも継続可能な形で生産された木材製品に与えられる認証のこと。

④ 行政・地域コミュニティとの交流

パトゥムタニ工場では、政府関係者や周辺住民の方を工場に招待し、工場見学会や環境への取組みについての聴聞会を開くなど、地域・行政とのコミュニケーション向上に努めています。



工場見学会の様子

担当者の声



ニッケイ・サイアム社 人事・総務部
マネージャー

パイリン スリラジャック

私の働いているニッケイ・サイアム社のアマタナコン工場では、省エネルギー型オールアルミ製熱交換器とノンフロン断熱パネルを製造しています。私は、人事と環境マネジメントシステムおよびCSRの推進を担当しており、この工場で働きだして7年になります。

私たちの職場では、「緑の文化」を構築することを心がけ、さまざまな活動を行っています。今後も、日軽金グループの環境方針を共有し、日々自然環境への想いを強く持つて環境保全をはじめとしたCSR活動を行っていきます。

その他のサイトでの 環境保全活動

- ニッケイエムシーアルミ(タイ)社
- 環境資源の維持と近隣住民とのコミュニケーションを目的とした珊瑚の植樹活動を実施しています。

2017年度は約40名が参加しました。



珊瑚植樹の様子

- 崩御されたラマ9世を悼み工業団地内の会社とともに、団地内にマリーゴールドなどを植樹しました。



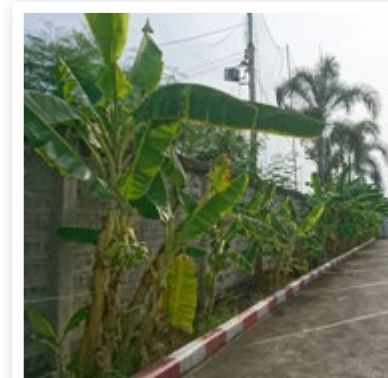
開花したマリーゴールド

- マングローブ保全のための植樹活動



マングローブ植樹活動に参加した皆さん

- フルハーフマジャック社
- バナナの植樹



植樹されたバナナの木

- ごみ分別活動
- 環境担当者会議で他サイト実施例の横展開により開始し、分別の意識が向上しました。



分別用ゴミ箱